

NEWS & TOPICS

グループ各社の注目ニュースをお届けします

2021年
2月-6月

CLOSE UP 1

企業情報

セブン&アイHLDGS.

プラスチックの再資源化に取り組み
新会社『株式会社アールプラス
ジャパン』へ資本参加

2月15日



セブン&アイHLDGS.は、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック問題の解決に貢献するため、昨年6月から事業を開始した共同出資会社(株)アールプラスジャパンに資本参加し、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組みます。

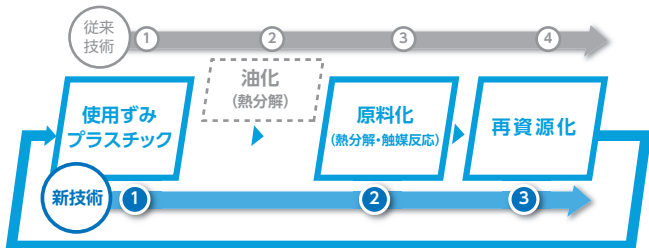
●共同出資事業における取り組みについて

(株)アールプラスジャパンは、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進め、業界を超えた連携により2027年の実用化を目指します。

●使用済みプラスチックの再資源化技術について

国内では多くが燃焼^{※1}されているといわれているペットボトル以外のプラスチックを、直接原料に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術によって再資源化していきます。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー(熱利用)を含む
※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない3工程で処理でき、CO₂排出量やエネルギー必要量の抑制につながります。

CLOSE UP 2

社会・環境活動

セブン&アイHLDGS.

国内初オフサイトPPA
セブン&アイグループとNTTグループの
協創で取り組みRE100店舗の実現

3月31日

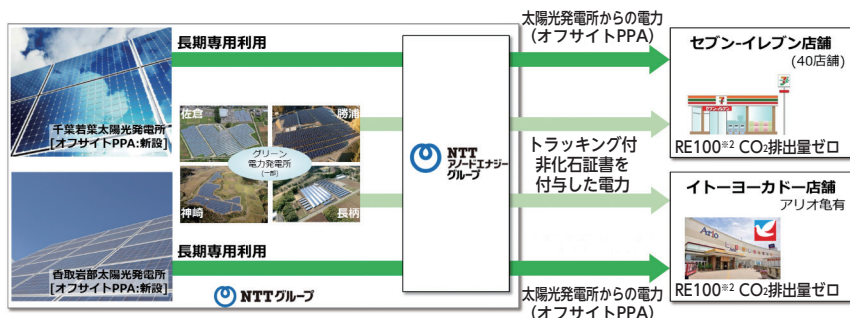


セブン&アイHLDGS.と日本電信電話株式会社は、セブン&アイグループの店舗運営における使用電力の100%再生可能エネルギー化の実現を目指し、国内初^{※1}のオフサイトPPA(図参照)による電力調達およびNTTグループが所有するグリーン発電所からの電力を、2021年4月より順次、一部店舗に導入しました。

今回の取り組みでは、セブン・イレブン40店舗およびアリオ電有の店舗運営に100%再生可能エネルギーを使用します。

事業者が電力消費者である企業・自治体など専用の再生可能エネルギー発電所を遠隔地に設置し、送配電網を介してその電力を長期間供給するオフサイトPPAは、国内初の取り組みです。また、オフサイトPPAだけでは不足する部分を、NTTグループが所有するグリーン電力発電所を活用することで、店舗運営に使用する電力を100%再生可能エネルギー化します。

※1 株式会社資源総合システムへのヒアリングなどを通じたNTT-AE調べ



日本国内において多くの事例が存在する「オンサイトPPA」は、屋根や遊休地に発電設備を設置し需要家設備と隣接する形で電力を利用するモデルであるのに対し、今回の「オフサイトPPA」は遠隔地の発電設備から送配電網を介して電力供給を行っています。

※2 RE100とは、企業が自らの事業の使用電力を100%再生エネで賄うことを目指す国際的なイニシアチブです

セブン&アイグループの健康経営に関する取り組み

健康維持・未病、健康増進に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険組合との共同による、定期的なウォーキングイベントの開催 外部専門家を講師としたオンライン健康セミナーの定期的な開催
感染症予防対策に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務やスライドワーク（時差出勤）などの活用による、感染リスクの低減 勤務や通勤時に必要なマスクの従業員への配布
心身ともに健康で、働きやすい職場づくりの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス研修（ラインケア・セルフケア）実施によるメンタル疾患の未然防止 社内チャットを導入し、勤務場所（在宅/本社/その他拠点）などにかかわらず、コミュニケーションを図れるシステムの整備
喫煙率低下に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 就業時間内の全面禁煙実施 禁煙成功者への健康保険組合による補助金支給制度導入
社会に対する健康応援の取り組み～SDGsへの貢献～	<ul style="list-style-type: none"> 塩分・糖質などお客様の気になる点を考慮した商品の開発・品揃え 健康に配慮するとともに、より味や品質の高い商品へと進化 炭水化物をお客様の関心の高い食物繊維と糖質に分けて表示 店舗における「健康」をテーマにしたメニューの提案、レシピの開発、栄養価計算

企業情報
セブン&アイ・フードシステムズ
ファミリーレストラン初
デニーズでテレワーク

2月8日

デニーズは、錦糸町駅前店、浅草雷門店、八王子旭町店、築地店の4店で、客席の一区画をテレワーク専用スペースとして利用できるサービスのの実証実験を開始しました。テレワーク・テクノロジーズ株式会社提供の「テレスペース」を活用し、食事や喫茶需要とテレワーク需要の両方を実現できます。現在はマルチスペースとしての予約も受けつけています。



社会・環境活動
セブン・イレブン・ジャパン
セブン・カードサービス
医療施設で働く方々にポイント付与した「nanaco」を寄贈

2月24日

セブン・イレブン・ジャパンとセブン・カードサービスは、セブン・イレブン店舗が入居している全国100カ所の病院等医療施設で働く皆様に、1000円分のポイントを付与したnanacoカード約6万5000枚を寄贈。この取り組みは、新型コロナウイルス感染症対応の最前線で活動される医療従事者の皆様に、使いやすくご利用いただける支援を提供したいとの思いにより実施しました。

企業情報
セブン&アイHLDGS.
『健康経営優良法人2021』
『ホワイト500』に認定

3月4日

セブン&アイHLDGS.は、『健康経営優良法人2021』『ホワイト500』に認定されました。これは、経済産業省が、とくに優良な健康経営を実践している企業を認定する制度で、左記の取り組みが評価され認定されました。

※セブン&アイHLDGS.と傘下の事業会社であるセブン・イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、ヨークベニマル、ヨーク、そごう・西武、赤ちゃん本舗、セブン&アイ・フードシステムズ、セブン銀行も同時に認定されています。

企業情報
ヨーク
店舗従業員の制服を一新
旧制服を再資源化

2月24日

ヨークは設立以降、設立前の会社に準じた制服を着用していましたが、このたび、シンボルマークであるハトの企業ロゴに着想を得たデザインの新制服を導入。従業員の声をもとに、店舗での作業内容を鑑みた「機能性」「安全性」に配慮したつくりとなっています。また、回収した制服を再生原料に加工して二次製品化する環境にも配慮した取り組みを計画しています。



社会・環境活動
イトーヨーカ堂・ヨークベニマル・ヨーク
有料レジ袋収益金を
自治体や団体に寄付

2月26日

イトーヨーカ堂、ヨークベニマル、ヨークの3社は、レジ袋代金としてお客様からいただいた収益金計3208万3197円※を、環境保全などに広く役立てていただくため、各地域の自治体や団体の約20カ所に寄付いたしました。今後もお客様のご理解とご協力のもと、プラスチック製レジ袋の削減をはじめとする海洋プラスチックごみやCO₂排出量の削減など環境負荷低減の取り組みを推進していきます。

※収益金は、販売額から原料費などを差し引いた額。対象期間2020年7月1日（ヨークは4月11日）～12月31日

企業情報
イトーヨーカ堂
安全と安心の再確認
『東北かけはしプロジェクト』

3月8日

イトーヨーカ堂では2011年より、被災した東北企業や食品メーカーなどと連携し、『東北かけはしプロジェクト』として活動してきました。今年も被災された地域の復興を応援することを目的に、東北ならではの食品や銘菓の販売を行いました。また、東日本大震災から10年である今年だからこそ、改めてお客様に防災や備蓄について考えていただけるよう、長期保存可能な商品の提案を実施。今後も東北地方の復興・創生のかけはしを築いていきます。

社会・環境活動
一般財団法人セブン・イレブン記念財団
セブン・イレブン記念財団、
環境省と協定締結

3月12日

一般財団法人セブン・イレブン記念財団は、環境省、一般社団法人環境パートナーシップ会議と「環境保全及び協働取組に関する協力協定書」を締結。日本全国における環境保全活動および環境の保全に関する協働の取り組みの推進を図り、環境問題の解決やSDGs達成に向けて活動の加速化や情報発信を共同で進めていきます。環境省が環境活動を支援する助成団体と協定を締結するのは初となります。

店舗情報
そごう・西武
変化したニーズに対応した
「Men's Life Style zone」誕生

2月26日

そごう横浜店はコロナ禍で変化した男性の新しい生活様式に対応し、紳士フロアを刷新しました。オンライン会議などの増加によって重要度が増した顔まわりの身だしなみを提案する売場を新たに設置。また、コロナ禍で加速するアウトドアスタイルに対応したファッションやアイテムの提案、さらに人気のスポーツ、ゴルフ売場をリニューアルしました。



企業情報
セブン銀行
フィリピン国内のセブン・イレブン
店舗にATM設置を開始

2月26日

セブン銀行のフィリピン子会社 Pito AXM Platform, Inc. は、フィリピン国内のセブン・イレブン店舗にATMの設置、運営を開始しました。フィリピンでは、経済成長にともない金融取引が増加し、国策による銀行口座の保有率も上昇する中、ATM利用ニーズも高まりつつあります。フィリピン国内では初の紙幣還流型ATMを設置することで、利便性の高いサービス提供を目指していきます。今後も順次提携銀行を拡大していく予定です。

社会・環境活動
セブン・イレブン・ジャパン
『Jブルークレジット・
カーボンオフセット』に参画

3月18日

セブン・イレブン・ジャパンは、国土交通大臣認可法人であるジャパンブルーエコノミー技術研究組合が発行する『Jブルークレジット・カーボンオフセット』に参画しました。2011年度からセブン・イレブン記念財団を通じて、水質浄化やCO₂削減に役立つアマモを増やし、東京湾を豊かな海に再生する活動に取り組んできました。

さらに今回の『Jブルークレジット』購入を通じて、クレジット創出者である横浜港における藻場づくり活動の取り組みの活性化・持続可能性の向上につなげ、CO₂排出量の削減に寄与していきます。

企業情報
セブン&アイHLDGS.
セブン&アイHLDGS.
オンライン入社式開催

3月29日

今年度は、セブン&アイHLDGS.のグループ19社に748名（昨年度は999名）が入社。今年度の入社式は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からグループ合同では開催せず、事業会社ごとにオンラインなどで行いました。各社では店舗などで実務を通じた研修を行い、次世代を担う人材育成に努めています。

社会・環境活動

セブン&アイHLDGS.
3月27日
セブン&アイグループ各社が
ライトダウンで環境アクション



セブン&アイHLDGS.は、お客様と一緒に持続可能な未来を考える。アクションをセブン・イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、そごう・西武などグループ各社で行っています。3月27日には約600店舗、7月7日の「クルアース・デー」には約500店舗で、同じ日・同じ時刻に電気を消す「ライトダウン」を実施。これは自然保護団体WWF（世界自然保護基金）が地球温暖化防止と環境保全の意志を示すために2007年にスタートした「EARTH HOUR」という取り組みで、2020年には190の国と地域が参加した世界最大級の環境アクションであり、セブン&アイグループもこの活動に賛同。その他、自宅でもできる「キャンドルナイト」の動画や食品ロス削減レシピを配信するなど環境について考える企画を提案しました。これからも豊かで持続可能な社会の実現を推進していきます。

そごう横浜店



ライトダウン
イベント
動画はこちら

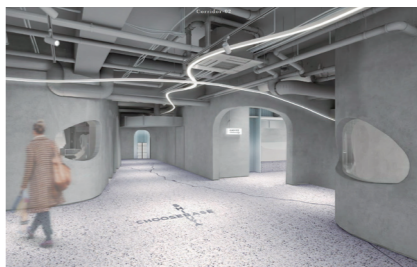


企業情報

そごう・西武
4月6日
メディア型OMOストアを出店

4月6日

西武渋谷店は、百貨店では初となるメディア型OMOストア[※]を展開。ミレニアル世代やZ世代の支持を集めるD2Cブランドとの協業を通じ、新しい小売ビジネスを創出していきます。同時にECサイトをオープン。オンラインにて購入した商品の店頭受け取りなど新サービスも提案していきます。
※店頭とECで顧客・商品・在庫情報が統一されたストア形態



OMOストア「チューズベース シブヤ (CHOOSEBASE SHIBUYA)」は2021年9月オープン予定（画像はイメージです）。

企業情報

セブン・イレブン・ジャパン
4月20日
京王ストアと
業務提携契約を締結

4月20日

セブン・イレブン・ジャパンは株式会社京王ストアと、京王ストア運営の駅売店・コンビニエンスストアのフランチャイズ化に関する業務提携契約を締結。1号店は夏から秋頃のオープンを予定し、2年間で約40店舗をセブン・イレブンのフランチャイズ店舗に転換。地域とお客様のさらなる利便性向上を目指します。

企業情報

セブン・イレブン・ジャパン
5月18日
移動販売車「セブン
あんしんお届け便」が10周年

5月18日



セブン・イレブン・ジャパンが1道2府35県で計107台（4月末時点）を展開している移動販売車「セブンあんしんお届け便」が、運用開始から10周年を迎えました。2011年5月に茨城県で開始して以来、12年には北海道で初となる四輪駆動の移動販売車を採用するなど、全国へのセブン・イレブン店舗に導入を拡大。地域のお客様にとってより「近くて便利」なお店を目指します。



社会・環境活動

セブン&アイ・フードシステムズ
5月18日
デニースとロイヤルホスト
食品ロス削減と脱プラへ

5月18日



デニースはロイヤルホストとともに、環境省が推進する食品ロス削減活動「自己責任による食べ残し持ち帰り」「mottECO（もってこ）」の導入モデル事業への採択を機に、ご希望のお客様に、食べ残した食事を持ち帰る専用容器をお渡しする取り組みを開始しました。食べ残したものは自分の責任で持って帰る文化の普及と啓発を図ります。また、この取り組みでは、企業の垣根を越えて両社同様の100%植物由来の新素材容器を使用することで、食品ロス削減と脱プラスチックの両立を目指します。

企業情報

そごう・西武
4月28日
グランツリー武蔵小杉に
西武ショップオープン

4月28日

そごう・西武は、セブン&アイ・クリエイトリンクが運営するグランツリー武蔵小杉に、デパ地下食品を中心としたギフトショップをオープン。コロナ禍におけるイェナカごちそう需要などでニーズが高まっている上質な百貨店ならではの食品・ギフトアイテムを展開することで、お客様の新たなニーズに対応します。

社会・環境活動

セブン&アイ・フードシステムズ
5月13日
山梨県と包括協定を締結し
環境課題解決へ

5月13日



セブン&アイ・フードシステムズは、地方自治体と環境に関する初めての協定となる「森林及び環境の保全等に関する連携協定書」を山梨県と締結。森林の保全および持続可能な社会の構築を目指し、山梨県内6店舗のデニースで環境に関する情報発信と普及啓発を展開。
県産材や県産FSC（森林管理協議会）材の什器、割り箸、内装材の使用・販売や、山梨夏つ子きのこと（クロアワビダケ）を使用したメニュー開発、間伐体験などを通じた「デニースの森」づくりを進め、地域とさらなる連携を図り、環境課題の解決に取り組んでいきます。

企業情報

セブン&アイHLDGS.
5月26日
女性執行役員比率30%の
目標を設定

5月26日



セブン&アイHLDGS.は、より多くの女性がさまざまな場面で意思決定へ参画することを目的に「30% Club Japan」へ加入、セブン&アイHLDGS.、セブン・イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、そごう・西武、ヨークベニマル、ヨークの執行役員に占める女性の割合を2026年2月期までに30%にする目標を新たに設定しました。

今後、セブン&アイグループのダイバーシティ&インクルージョン活動の中で、とくに女性の活躍推進に関する取り組みを強化。これまで以上に従業員一人ひとりが働きがいを実感しながらイキイキと活躍できる企業風土をグループ全体で醸成していきます。

企業情報

セブン・イレブン・ジャパン
5月25日
「手巻おにぎり」刷新、
プラスチック使用量約2割減

5月25日



セブン・イレブン・ジャパンは、主力商品「手巻おにぎり」をリニューアルしました。今回のリニューアルでは従来より採用している「ライスインキ」や「ポタニカルフィルム」の仕様に加え、薄肉化したフィルムを採用し、プラスチックの使用量を従来比約2割削減することでより環境へ配慮したパッケージとしました。



「女性エンカレッジメントセミナー」

今年4～9月の間、グループ19社・約60名の管理職候補の女性社員を対象とし、「女性エンカレッジメントセミナー」を開催。経営層からの講話やグループディスカッションを通じ、参加者の今後の自律的な学びと挑戦を後押ししています。第1回セミナーでは、井阪社長より部長職時代の挑戦にまつわるエピソードや女性社員への応援メッセージが話され、講話を受けた参加者による活発な意見交換が行われました。

ダイバーシティ&インクルージョン活動を
紹介している「セブン&アイ
経営レポート」はこちら



新サービス
セブン・フィナンシャルサービス
保険通販サイト公開

5月28日

セブン・フィナンシャルサービスは、お客様の非対面・非接触ニーズの高まりを受け、5月17日に保険通販サイトをオープンしました。スマートフォンやパソコンから各種保険商品の資料請求やお申し込み、ライフプラン作成サービスのお申し込みまで対応。今後も、保険やお金に関するコラムの追加など継続的なサイト改善を図り、お客様の暮らしをもっと豊かにするサービスの提供に取り組んでいきます。



企業情報
イトーヨーカ堂
買物支援サービス
「イトーヨーカドーとくし丸」
が50台突破

6月7日

イトーヨーカ堂が展開する買物支援サービス「イトーヨーカドーとくし丸」が6月7日に50台目の運用を開始。郊外だけでなく都心部でも増加するお買物に困りのお客様に対し、地域と連携した買物支援を推進するため、今後は100台運用を目指してまいります。



資本提携
セブン&アイHLDGS.
「協栄J&T環境」に資本参加
廃PETボトルを安定供給

6月21日



セブン&アイHLDGS.は、持続可能な社会の実現とプラスチック問題の解決に貢献するため、J&T環境株式会社、協栄産業株式会社とともに国内最大級のPETボトルリサイクル樹脂製造合併会社である協栄J&T環境株式会社に資本参加することに合意。これにより、協栄J&T環境はセブン&アイグループの店頭に設置したペットボトル回収機で集めた廃PETボトルを、原料として安定的に受け入れることが可能になります。

セブン&アイグループは、長年にわたり廃PETボトルを協栄産業へ供給しており、「セブンプレミアムライフスタイル」の肌着に使用される原料やオリジナル商品の包材の一部にリサイクルPET樹脂を使用。新たに協栄J&T環境に出資することで、プラスチックのリサイクルシステムを強化します。3社のPETリサイクルの実績や保有技術を最大限活用し、本事業分野における先進的な活動を推進。今後もサーキュラーエコノミーの実現および二酸化炭素排出量の削減や天然資源の使用料抑制に貢献していきます。



協栄J&T環境が建設中の「西日本PETボトルMRセンター」の完成イメージ。

社外評価
セブン&アイHLDGS.
総合流通グループとして初の
「DX銘柄2021」に選定

6月8日

セブン&アイHLDGS.は、経済産業省と東京証券取引所が実施する「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2021」に、総合流通グループ企業として初めて選定されました。昨年度は、デジタルトランスフォーメーション(DX)の迅速かつ着実な推進を掲げ、「グループDX戦略本部」を2020年4月に発足。セブン&アイグループ共通の「DXプラットフォーム」を構築し、エンジニアの採用・育成の強化を推進しました。「新たなお客様体験価値の創造」をテーマとした「攻めのDX」、「セキュリティと効率化」をテーマとした「守りのDX」の2つに大別した「グループDX戦略マップ」を策定するなど、グループ全体でのDXを加速させるためのさまざまな施策を実施したことが評価されました。

◆「DX銘柄」とは
東京証券取引所に上場している企業(約3,700社)の中から、企業価値の向上につながるDXを推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績があらわれている企業を、業種区分ごとに選定して紹介するもの。「ビジョン・ビジネスモデル」「戦略」「組織・制度等」「デジタル技術の活用・情報システム」「成果と重要な成果指標の共有」「ガバナンス」の6つの項目と財務指標をスコアリングし、評価委員会の最終選考を経て選定されます。



店舗情報
イトーヨーカ堂
イトーヨーカドー南大沢店に
ワクチン接種会場を開設

6月14日

イトーヨーカドー南大沢店で、東京都内の民間商業施設で初めてとなる新型コロナウイルスワクチン接種会場を開設しました。これは八王子市と地域活性化包括連携協定を締結している南大沢店より、八王子市に提案し実現しました。会場では密を回避し、余裕を持ったスペースを確保。従業員が一丸となりクリンリネスを徹底し、安全・安心にご来店いただけるよう取り組み、4月20日から7月31日までの実施で約4万7000人のワクチン接種が完了しました。

新サービス
セブン銀行
リアルタイム振込サービスで
フリーランスを支援

6月15日

セブン銀行は、フリーランス向け即日先払いサービスを運営している株式会社セレスに対し、24時間365日*、即時振り込み可能なリアルタイム振込サービスの提供を開始しました。セレスの請求書買い取りファクタリングサービス「Nugget(ナゲット)」は、請求書の買い取り審査後、即時に入金することが可能。最短60分ほどで資金調達ができることから、多様化する働き方に対し金融面でサポートしていきます。*臨時システムメンテナンス時を除きます。振込先銀行によっては翌営業日になる場合がございます。

セブン&アイHLDGS.

中国・雲南省に セブン・イレブンを初出店

セブン&アイHLDGS.の子会社であるセブン・イレブン(中国)投資有限公司は、雲南省を本拠地とする雲南強林築家連鎖便利店有限公司にフランチャイズ権を付与。雲南省の省都・昆明市内で1号店となるセブン・イレブンを2021年度中に開店する予定です。中国エリアにおけるコンビニエンスストア市場の将来性に注目し、今後も日中両社による連携を軸に、既存地域・新地域の両面で出店を強化していきます。

ヨークベニマル

ライフフーズを吸収合併し 生活提案型のサービスを強化

3月1日、ヨークベニマルは、100%子会社であるライフフーズの吸収合併に関する基本合意書を締結しました。成長性の高いデリカテッセンの製販一体のビジネスモデルをコア事業に据え、ライフフーズがつくりあげてきたブランド価値をさらに高めます。ヨークベニマルは今後も生活提案型のスーパーマーケットとして、価格優位性を保ち、安全・安心でおいしい商品を提供していきます。

・合併期日：2022年3月1日

OPEN情報

■ 1月29日(金)	ヨークベニマル メガステージ二本松店	福島県二本松市作田247
■ 1月29日(金)	双楠ロフト (シュアナンロフト)	中国 四川省成都市二環路西一段逸都路 6号 成都イトーヨーカ堂双楠店2階
■ 2月10日(水)	ヨークベニマル 今泉店	栃木県宇都宮市今泉町158-1
■ 2月19日(金)	ヨークベニマル 名取愛島店	宮城県名取市愛の社1-1-1
■ 2月27日(土)	ヨークフーズせんげん台店 (ヨークプライスからの屋号変更)	埼玉県越谷市千間台東2-707
■ 3月5日(金)	宮崎ロフト	宮崎県宮崎市新別府町江口862-1 イオンモール宮崎2階
■ 3月12日(金)	福井ロフト	福井県福井市中央1-8-1 西武福井店6階
■ 3月12日(金)	アカチャンホンポ スマーク伊勢崎店	群馬県伊勢崎市西小保方町368 スマーク伊勢崎2階
■ 3月19日(金)	ヨークベニマル つくばさくらの杜店	茨城県つくば市さくらの森25-5
■ 3月26日(金)	アリオ札幌ロフト	北海道札幌市東区北7条東9-2-20 アリオ札幌1階
■ 4月1日(木)	デニーズ大船笠間店	神奈川県横浜市栄区笠間3-17-13
■ 4月1日(木)	デニーズ南つくし野店	東京都町田市南つくし野4-17-16
■ 4月3日(土)	アカチャンホンポ ハンビータウン店	沖縄県中頭郡北谷町北前1-2-3 サンエーハンビータウン2階
■ 4月16日(金)	岡崎ロフト	愛知県岡崎市戸崎町字外山38-5 イオンモール岡崎4階
■ 4月22日(木)	アカチャンホンポ 港南台パース店	神奈川県横浜市港南区港南台3-1-3 港南台パース2階
■ 4月23日(金)	川口ロフト	埼玉県川口市並木元町1-79 アリオ川口2階
■ 4月23日(金)	デニーズ上用賀店	東京都世田谷区上用賀6-6-6 SOCOLA用賀2階
■ 4月23日(金)	アカチャンホンポ 大和鶴間 イトーヨーカドー店	神奈川県大和市下鶴間1-3-1 イトーヨーカドー大和鶴間店3階
■ 4月28日(水)	西武武蔵小杉ショップ	神奈川県川崎市中原区新丸子東 3-1135-1 グランツリー武蔵小杉1階
■ 5月15日(土)	曲阜路ロフト (チューフルーロフト)	中国 上海市静安区西藏北路166号 上海大悦城3階
■ 5月28日(金)	カラフルタウン 岐阜ロフト	岐阜県岐阜市柳津町丸野3-3-6 カラフルタウン岐阜 1階